

屋根材を試験施工する千葉大生＝千葉市稲毛区
の千葉大西千葉キャンパスで（新東提供）



太陽光住宅の世界大会

省エネ「三州瓦・新東」出場

中日新聞に記事が掲載されました

2012年1月17日

太陽光住宅の世界大会

省エネ「三州瓦」出場

三州瓦メーカーの新東（愛知県高浜市）の省エネに配慮した「環境瓦」が、太陽光発電を導入した住宅の設計を競う世界大会に出場する千葉大チームに採用された。九月の本番に向け、千葉大構内で試験施工が進んでいる。同社は環境面で優れた日本の瓦の技術力を発信したい考えだ。

環境瓦は、陶器瓦の表面にスナゴケを固定し、コケの遮熱効果で住宅の冷暖房に必要な電力を抑え、ヒートアイランド現象の緩和も期待できるといふ。あらかじめ加工され、施工時にごみが出ない別の瓦も採用された。大会はスペイン・マドリードで開かれる「ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012」。スペイン住宅省や欧州連合（EU）などが主催し、各国の大学生が出場する。千葉大は一次審査を通過し、日本で初めて本大会出場を決めた。建物本体は積水ハウス、太陽光発電パネルはカネカの製品を使う。

二人家族の生活に必要な電力をすべて太陽光発電で賄う実験住宅を学生が設計・建設。省エネ性能、デザイン性、社会性など十項目

（デカスロン）が審査される。新東は「環境先進性

を競う大会にチャレンジする千葉大生を後押ししたい」としている。